



# ふくたに しょうこ 福谷章子のまちづくり通信

2013年11月号(平成25年11月1日発行)  
編集・発行 千葉市議会議員 福谷章子(未来創造ちば)  
〒266-0031 千葉市緑区おゆみ野3丁目40-8 河野ビル213号  
電話番号(FAX) 043-312-2903  
(月・火・木・金 10時~14時)

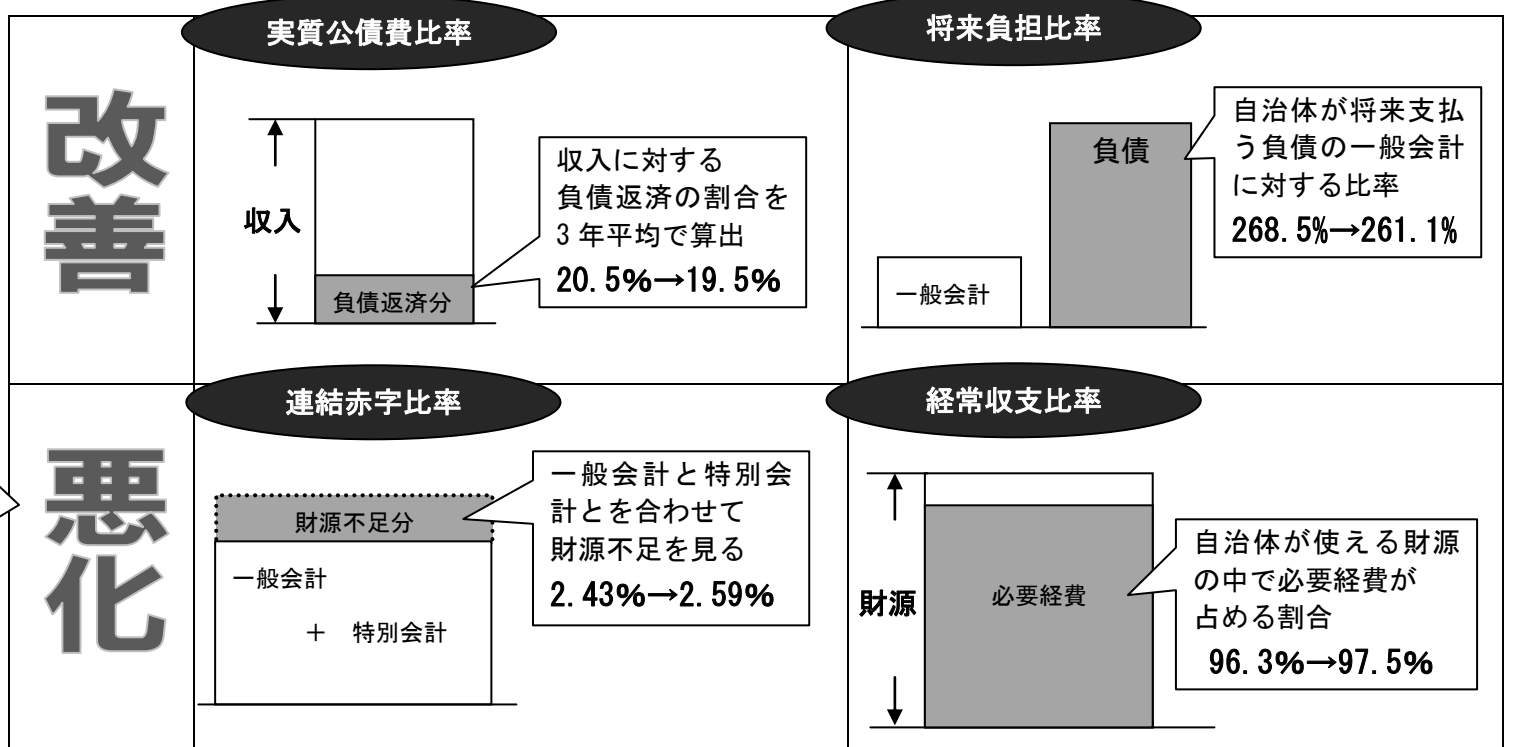
千葉市議会では、第3回定例会を9月6日から10月3日まで開催し、33件の議案と平成24年度の決算議案について審査しました。決算については、決算審査特別委員会を設置して分科会で細かく審査します。今回からは、従来の2分科会から5分科会に細分化し、少人数で専門的な審査をするとともに、これまで認められなかった分科会の傍聴も可能となり、議会の改革が進んでいます。

千葉市の財政は慢性的な収支不足。予算編成時にはまだ多額の財源が不足しています。  
H20年：78億円  
21年：224億円  
22年：267億円  
23年：135億円  
24年：112億円



## 借金は減れども財源は不足！24年度の決算から

自治体の財政状況を判断するいくつかの指標の中から、次の4つの指標について、23年度と24年度を比較してみました。



## 財源不足解消に名案はあるか！

財源をどのように確保するかについて今年の決算審査で検討しましたが、いずれにも論点があります。それらをあげてみると次のようになります。

### 収入アップ策

臨時財政対策債の発行	後々交付税措置されるが赤字地方債であることから、発行すべきか抑えるべきか。
退職手当債の発行	地方財政法の特例措置で平成27年まで人件費の削減に応じて発行できるが、生産性の無い支出。将来への負担として残して良いか。
市税などの徴収率の向上	債権管理を一元化する方向で努力をしているが、今の成果で評価できるか。(徴収率 市税 93.2%→93.6% 国民健康保険料 69.3%→71.6% 保育料 94.0%→94.4% 住宅使用料 78.3%→77.1%)
保険料や公共料金の値上げ	市民負担は妥当か。
投資家への働きかけ	千葉市のどんな面がアピール材料になるか。
広告料やネーミングライツでの収入	そろそろ限界ではないか。
市有財産の売り払い	何を処分するか。処分か貸付か。
税源の涵養(企業や人を呼び込む)	具体的にどのような方策があるか。
資金運用	すべきか、リスクはどうか。公共団体の公募債など安全なもので運用。
基金からの借り入れ	禁じ手ではないか。

### 支出抑制策

職員の給与カット	今後もすべきか、すべきでないか。
公共事業の見直し	人口減少を見据えて集約型都市への見直しと抑制が必要。
市民サービスの見直し	必要な市民サービスとはどのようなものか。

### 壊れたら直す → 計画的なメンテナンスへ

築30年以上の施設が約半数ありますが、10年後には7割になります。そこで、新たに「資産経営の基本方針」を策定し、「資産カルテ(データベース)」を作り、計画的な資産経営をしていこうとしています。これまでは作ることが最優先で、「壊れたら直す」という考え方でした。早めにメンテナンスをすれば経費も少なく済むため、今後は修繕も含めた計画的な資産運営をしていこうということです。合わせて、公共施設の見直し方針も策定し、将来的に15%の施設を削減することを検討しています。

### ~千葉市の財政状況を悪化させている要因~

いったい、千葉市の財政状況を悪化させた要因は何でしょうか。これまでに投資した公共事業費の負担が大きいのしかかっていることは言いつくされていますが、ソフト事業(ばらまきの補助金事業)の負担も大きくなってきているのです。

特別会計の国民健康保険の赤字や、生活保護の増加も今後さらに増えていくことが予測されます。

また、今後は数多くある公共施設の維持管理・補修・改修に多額の財源が必要になってくることは確実です。

## 超高齢社会を見据えて...

高齢者予算の使い方について、さまざまな考え方があります。限られた税金をどのように使うかについては、それぞれに考え方が異なります。そこで、まずどんなことに支出されているか、24年度決算から拾ってみました。

認知症疾患医療センターの設置 595万円、在宅福祉サービス 2億5273万円、ことぶき大学校 2942万円、老人クラブ育成 3830万円、三世同居支援 2877万円、地域見守り活動支援 142万円、特別養護老人ホーム助成 4億2583万円、在宅医療を支えるための巡回サービスや小規模多機能施設助成 2711万円、介護保険事業(安心ケアセンターの増設などを含む) 494億1773万円、生きがい対策 3億4300万円(敬老祝い金:満77歳(10,000円)8713人 満88歳(30,000円)2157人 満99歳(50,000円)151人、敬老祝品:最高齢者男女各一人、敬老会開催補助:355箇所、高齢者いきいき健康園芸 など)

今年度(平成25年)は、敬老会開催補助金を1/2から3/4に引き上げたことにより、開催団体は24年度の355団体から388団体に増えました。地域で声をかけあい、見守り支え合う関係作りの構築を模索することが大切ですね。



憲法では健康で文化的な最低限度の生活を保障しているので、自治体の税金の使い方としては、まずそこが最優先です。とすると、医療や社会保障は充実させるべきだと考えます。次に必要なのは、健康で暮らせるように予防事業や健康づくりに力を入れていくことではないでしょうか。このように、限られた財源をどのように配分すべきか、既得権やこれまでの慣習にとらわれることなく、未来を見据えて考えていきましょう。

# こんなことに取り組んでいます



花と音とのコラボ ～花と音の時間～  
(千葉市美術館 11 階市民ギャラリーにて)

## いつでもどこでも誰でも 音楽を楽しめる街に

千葉市ではベイサイドジャズが定着しましたが、地域でも気軽に音楽が楽しめる場が欲しいと始まったさまざまな音楽祭があります。  
つきいち音楽祭 毎月第3土曜日みんなの広場  
ゆみーる音楽祭 (4月と9月に開催)  
蛭の里の音楽祭 (毎年6月開催)  
まちカフェライブ (3年目を迎える今年は緑区との共催事業となり、11月17日に開催)

## メディアアートに挑戦しよう

IT技術を使った新しいアート、メディアアートに注目しています。特に広い場所にパソコンで作成した絵や動画を、投影する構造物にぴったりと形態を合わせて画面を作成し、多くの人に見せるプロジェクションマッピング。千葉市でも開催できないか、模索しています。逗子市が開催しているメディアアートフェスティバルが必見です。



逗子小学校の校舎に映し出された  
子どもたちの絵

## スポーツのすそ野を広げよう

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定しました。千葉市では車椅子スポーツに力を入れ始めています。淑徳大学を中心とした車椅子バスケットや、ポートアリーナで練習をしているウェルチェアラグビーは、大迫力です。



ロンドン2012パリンピック  
(千葉市HPより)

## これからはICTの活用を

オープンデータの動きが活発です。行政が所有するデータを二次利用可能な形で公開し、市民や事業者が活用するという考えに基づき、市民が活動の主役となって行政をコントロールしていくことが究極の目標です。そのためには、市民側の準備や努力がまだまだ不足しています。一方、千葉市が行ったオープンデータを活用したアイディコンテストには221件の応募があり、その中から選ばれた優秀作品のプレゼンテーションとオープンデータに関する講演などのシンポジウムも行われます。身近な地域にも広げていきたいと思えます。



オープンデータに関する勉強会

## ICTってなに???

情報技術 ITにC (Communication) が加わった ICTは、伝達や交流を前提とした人と人をつなぐ技術として市民生活をより豊かにし、公共部門への貢献が期待されている。オープンデータとは、行政が保有するデータを、誰もがそのまま利用できる形式で公開し、社会が効果的に活用することにより、新たな価値を創造していこうとするもの。

# →→→議会改革進行中→→→

8月9日に、議会改革推進協議会を設置しました。取り扱う項目は、これまで「議会のあり方検討協議会」で検討半ばとなった申し送り事項3件と、新たな項目3件で、①議員定数に関する事 ②議会報告会等の開催に関する事 ③通年会期及び公聴会の開催・参考人招致の取り扱いに関する事 ④政策条例の提案 ⑤ICTの活用 ⑥災害時の議員・議会の動き方 について協議をしていきます。10月末の時点では、「政策条例」と「ICT化」についてはプロジェクトチームで検討を重ね、「議員定数」に関しては幹事長会議で議論し、「通年議会や議会運営」に関する事は時間をかけて検討していくこととなり、「災害時の指針」は素案が出来上がりつつあります。期限は平成26年12月まで。激論となることが多い会議です。どうぞ傍聴にいらしてください。

次回 第5回議会改革推進協議会 11月21日(木) 10:00～ 第1委員会室

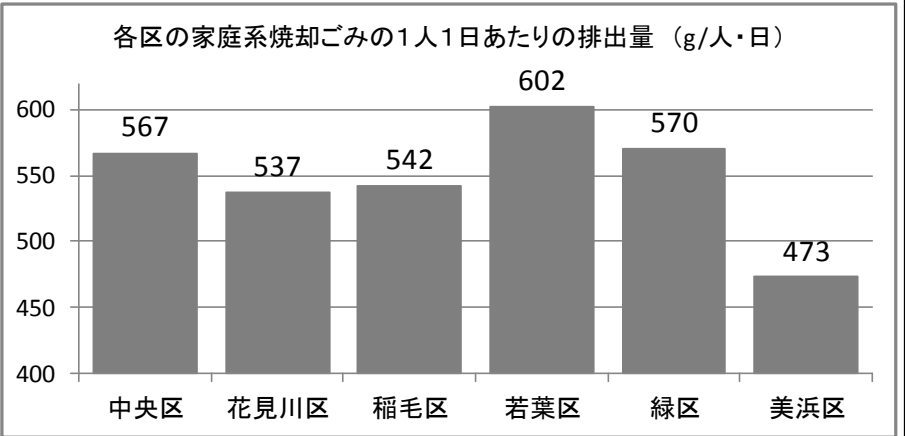
## ご意見拝聴!

アンケート (1面の記事についておたずねします)

1. 千葉市の財源確保策についての貴方のお考えをお聞かせください。
2. 高齢者施策について、必要だと思うもの二つをお聞かせください。
3. その他ご意見がありましたら何でもどうぞ
4. あなたの年齢 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代
5. あなたの住まいの場所 緑区 町

# 進んでいますか? ごみの減量

千葉市民が1人1日あたりに出すごみの量は550g程度ですが、区によって違いがあります。興味深いことですが、緑区は意外に多くなっています。(2013年4月～9月の平均値)



## いよいよごみ袋が変わります 2月1日までに準備を!

2月1日から、新しいごみ袋に代わります。新ごみ袋は1ℓ当たり0.8円となりますが、デザインも一新し、ARIGATOUとローマ字で印字されています。



## 今後のスケジュール

- 12月 「指定袋取扱店一覧表」、「千葉市家庭ごみの減量と出し方ガイドブック」と併せて、新しいごみ袋を、市内すべての家庭の郵便ポストなどに配布
  - ※「新しいごみ指定袋 (試用品)」1セット (計6枚)
  - 【内訳】可燃ごみ袋 10ℓ・20ℓ・30ℓ・45ℓ
  - 不燃ごみ袋 10ℓ・20ℓ
- 1月 市内のスーパーマーケットなどで新しいごみ袋の販売開始
  - 1月4日～3月末 古い袋は区役所で交換します
  - (古い袋10枚=新しい袋1枚)

## 意見交換会のご案内

市民のみなさんと、市政や議会や身近なまちづくりについてなど、幅広く意見交換を行う対話会を開催します。主催はまちづくりの会です。

11月16日(土) 14:00～15:30  
鎌取コミュニティセンター  
2階会議室にて  
ぜひご参加いただきご意見をお聞かせください。

ご協力いただける方は、左記に記入の上、FAXにてお送りください。FAX番号 312-2903  
メールにてお答えいただける方は、fukutani2903@gmail.comまでお願いいたします。

ブログ、twitter、facebookでも情報を発信しています。みなさんのご意見も書き込むことが出来ます。ご活用ください。  
ブログ: 千葉市議会議員 福谷章子のまちづくり  
https://twitter.com/shoukosan  
https://www.facebook.com/shouko.fukutani